

2005.6.25,26 愛知万博 赤ちゃん絆館 での活動風景

※当日の「赤ちゃん絆館を応援する」資料については[ここ](#)を御覧ください。

家族で癒しあおう ～人の手って気持ちいい～

一日の終わりに、『お疲れ様』とつぶやきながら、やさしく肩に手をあててあげよう。

お母さんが夫や子どもたちに。そして、夫やお母さんに、手を当て、おたがいに癒しあうことができたなら、きっと、心のかよいう家族になれるだろう。赤ちゃんが生まれたら、みんなで抱いて、なでて、母猫が子猫をなめるようにしっかり肌にふれてあげたら気持ちよからう。



2日間にわたり、18名のボランティアが北海道～九州までの日本全国から旅費、宿泊費自前で、自然育児友の会を応援するためにやってきました。

日頃行っている、からだを癒すケアをその場を訪れた観客に施し、家に帰っても家族の間で癒し合えるように、手取り足取り教えました。暑い中、疲れた足取りの方々に10分足らずのケアを行うと、皆精気を取り戻し、あ～、楽になった、と洩らされ、好評でした。

副会長 伊東厚子





愛知万博で、イベントに参加させていただいて本当にありがとうございました。

日頃一人で活動している中、皆さん一人一人ケアや援助の方法を見せてもらってとても参考になりました。

たくさんの方が、ふれあいを受けてく待ってられるのには、驚きながら普段あまりご縁のない男性の身体や年配の方の身体と一緒に見させてもらっていつもケアでさわらせてもらっている妊娠中や産後の女性の身体が、本当に柔軟であることを改めて感じました。

私のところに来た方は、一人の男性をケアするのを見ていた妹さんが、家族で来ていたみんなを呼んで家族全員勢ぞろいして、長い時間を私たちのコーナーで過ごしていかれました。

私自身とても充実した時間でした。ありがとうございます。

原 萌萌子



当日は、短時間のケアにも関わらず、みなさん「気持ち良い」と喜んで下さり、私もうれしかったです。家に帰って家族で手当てし合ってくれると、もっとうれしいですね。これからもいろいろなイベントに参加して母子ケア研究会や、ケアのことも広めていきたいと思いました。



高橋恵美子



来場者の方々に手の暖かさや、全身リラクゼーションのケアの心地よさを体験していただき大変好評を得ました。暑い中でしたが、充実した2日間だったです。

高橋淳子



赤ちゃんの絆館はオープンな空間でしたが、乳房トラブルの悩みをもつ方にも適切に助言できました。癒しさを求めた人は、一般の男女が多く、もう少し母子とのかかわりが持てたらと思いました。でも、日頃行っている care 法で、皆さんを癒し、喜んでいただきました。

API のリサ・パーカー女史達からも care に関心を持っていただき、後で彼女に care をしました。彼女の感想？語学力の必要性を痛感した一日でした。

持田弘子

